



人類に
奉仕する
ロータリー

Chitose Rotary Club

千歳ロータリークラブ会報

2017年2月16日

第22号 (通算2320号)

大西会長方針

「相手の気持ちになろう、ロータリーの気持ちになろう」

会長 大西 信也 副会長 齊藤 博徳 幹事 今野 良紀
会長エレクト 瀧澤 順久 会計 喜多 康裕
第2510地区ガバナー 武部 實 第7グループ・ガバナー補佐 高木 繁秀

ロータリー創立日 1905年2月23日
千歳RC創立日 1968年4月26日

～2月は平和と紛争予防/紛争解決月間～

本日の例会 (2月16日 第24回) 夜間移動例会 (アストラル)

担当: 親睦活動委員会

第23回 (通算2456回) 例会報告

日時: 2017年2月9日 (木) 12:30~13:30

場所: ANAクラウンプラザホテル千歳 例会場

プログラム: 通常例会

担当: 青少年奉仕・ローターアクト委員会

進行: SAA・プログラム委員会 吉岡 毅 委員

四つのテスト 親睦活動委員会 腰越 くり子 委員

奇しくも日本のロータリーは2020年に100周年を迎え、その時のガバナーが福田パスト会長ということになります。千歳RCの創立50周年記念事業が終わりましたら、休む間もなくガバナー年度の準備に入らなければなりません。

大変ですが会員の皆さんが一丸となって福田パスト会長を支えていきましょう。これからは、福田パスト会長を福田ガバナーノミネーまたは次年度ガバナー補佐と呼びましょう。

幹事報告 (今野 良紀 幹事)



1. 1月28日「いびすき菜の花キャンペーン」ご一行を囲む歓迎交流会に大西会長出席いたしました。
2. 2月16日来週の例会は夜間例会です。ANAクラウンプラザホテル11階アストラルにて18時30分です。お間違えないようお願いいたします。
3. 事務局のパソコンが故障し皆様方にご迷惑をおかけいたしました。その間の連絡不備等がございましたならば幹事事務局まで申し出てください。ご迷惑をおかけしました。

会長挨拶 (大西 信也 会長)



皆さんこんにちは。1月31日、山口千歳市長を訪問して、1月12日開催の新年交礼会の時の千歳市奨学基金の為の寄付金73,000円を牟田社会奉仕委員長と一緒に手渡しに行っていました。千歳市奨学基金について市長や教育部長の島倉弘行様と色々お話しをしてきました。

千歳市奨学基金は経済的な理由から修学困難な高校生か大学生に給付するものです。

1960年に創設され、給付型なので返済する義務はありません。

高校生は、月額7,000円、年間84,000円です。大学生は、月額10,000円、年間12万円が給付されます。

2015年度の給付希望者は、高校生は82名で(その内)45名が給付されました。大学生は33名で20名が給付されました。

毎年、3月1日から4月10日までに給付希望者から申請を受け付け、成績や人物、家計状況を勘案、選考して、各年度の支給対象者を決めています。

2016年度は、2017年1月時点で222件、891万5069円の寄付がありました。

山口市長のお話によりまして、市民や企業の寄付が増えているので、最近では基金を取り崩さなくても事業を運営していけるそうです。

次年度、4月からは現在高校生と大学生を合わせて65名が給付を受けていますが、寄付金が多いので少し定員枠を増やす予定だそうです。これは喜ばしいことです。

私としては、千歳の未来を作る子供達の奨学基金への寄付を千歳RCとして、これからも継続して行なって欲しいと思います。

話は変わりますが、武部ガバナーより「2019~2020年度ガバナーについて」地区の69クラブの会長宛にメールがありました。

ちょっと読んでみます。(「2019~2020年度ガバナーについて」は、ホームページに掲載しています。).....
ということで、福田武男パスト会長が正式にガバナー・ノミネーとなりました。日本でロータリークラブが1920年に創立されたのが東京ロータリークラブで第1号です。

委員会報告

◇親睦活動委員会 小畑彰委員長



2月16日の夜間移動例会についてのお知らせです。ANAクラウンプラザホテル千歳のアストラルにて開催します。当ホテルの総支配人であります落合和昭会員より、4月にオープンする新館のご紹介やお得な情報をお話しいただけます。

また、高橋憲司会員が厳選した、普段あまり口にすることのできない日本酒と、お酒に合う料理も楽しんでいただけます。多数の皆様のご参加をお願い致します。

ポール・ハリス・フェロー記念バッジ授与

今年度のポール・ハリス・フェロー受章者5名の会員等に福田地区ガバナー・ノミネーより記念バッジが伝達されました。受章された皆さま、おめでとうございます。

福田裕子様(福田武男PCの奥様)、川端清PC、村田研一PC、五十嵐桂一会員、佐藤晴一会員、※川端清PCは本日欠席

◇メジャードナー記念品授与
ロータリー財団への寄付累計が1万ドルに達した福田武男PCに大西会長より記念品が贈呈されました。

～ 詳しくはホームページをご覧ください ～

青少年奉仕・ローターアクト委員会卓話

◇講師紹介：青少年奉仕・ローターアクト委員会 前田 浩志
委員長



皆さん、こんにちは。今日は当委員会の担当例会に多くのご参加をいただき、ありがとうございます。

本日の青少年奉仕・ローターアクト委員会の担当例会では数多くの担いを歴任され、道内外を問わずにご活躍中の当委員会の荒洋一 会員より「貧困な子供たちに対する支援」というテーマで卓話をさせていただきます。

そんな荒洋一 会員のお話を聞かせていただく貴重な機会となります。私たちが所属するロータリークラブの活動にもきっと繋がると感じられるような内容となると思います。最後までお付き合いの程よろしく申し上げます。本日の卓話が皆さんにとって有意義なものとなる事を願い、私からの紹介とさせていただきます。それでは、荒洋一 会員より申し上げます。

◇講師：青少年奉仕・ローターアクト委員会 荒 洋一 会員

テーマ「貧困な子供たちに対する支援」



皆さんこんにちは。

今、日本の世の中を考えた時に「貧困問題」というのは一つの大きな社会問題になっています。350万円以上の収入を得ている家庭が非常に少なくなってきました。それとともに子供たちも非常に貧困な状況に陥っているというのが、大きな社会的現象であります。

今日は子供に特化した中で、私たち日本の国民にとって、子供たちは日本の宝であり財産であり、この子供たちが今後どのように大人になって、日本を支えていただけるか、という話をさせていただきます。

厚生労働省は今、「ひとり親対策」を中心とした支援を行っています。「ひとり親」とは母子家庭と父子家庭のことをいいます。母子家庭の場合は特に経済的困窮が多く、正職率が37%位であり、後はパートとか非常勤等の不安定な生活を送っています。本当に困窮した場合には、母子生活支援施設に入り、資格を取得し、自立して親子で施設を出ることになります。自立後は350万円ほどの収入を得ることを目標としています。そのような活動をしているのが厚労省の仕事です。

子供たちへの教育支援や、貧困のために生活も看てあげなければならない。ところが、それは文科省、厚労省で全てをやりきることはできない。よって、それを取りまとめているのが内閣府です。内閣府が取りまとめたペーパーを厚労省がHPに使用しています。

◇「子どもの貧困対策の推進に関する法律（概要）」

この法律は、「子どもの将来が生まれ育った環境で左右されないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進すること」を目的としています。

これは子供たちが「きちんと学習する」ということと、「きちんとした生活を送る」ということを、総合的に推進していくための法律です。

◇「子どもの貧困対策の推進に関する法律について」

法律の背景ですが、「子どもの貧困率」は16.3%（2012年）。OECD加盟34カ国中25位。2009年には15.7%でしたが貧困率は増えてきています。子供がいる現役世帯のうち、「大人が一人の貧困率」は54.6%（2012年）。OECD加盟34カ国中33位。2009年には50.8%でした。

日本全体での高校進学率は98.6%ですが、生活保護世帯では90.8%しかありません。8ポイントもの差がついています。

大人が生活困窮していて、子供たちの教育機会がなかなかありません。エンゼルプランでは子どもたちは平等です。親たちが貧困であっても、その子供たちが大人になった時はそうであってはならない。というのがこの法律の目的であります。ですから、貧困の連鎖はさせない。というのが国の大きな考え方です。国が一番目指しているのは「貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備」、「教育の機会均等」、「子供の貧困対策を総合的に推進」、「子供の将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現」であります。国がこの法律を作ることによって、都道府県、市町村は国と連携して、努力して地方から子供たちを救っていくというのが一つの考え方です。

◇「子供の貧困対策に関する大綱について」

日本の国が「子供の貧困」に対し、具体的に何をしたいかを描いたのが大綱です。「基本的な方針」では、現状を見つめ、何処に重きを置くかを表しています。

母子家庭の就業率は80.6%ですが、正規（雇用）は39.4%です。この方々の年間所得は350万円位であろうと言われています。非正規47.4%の方は年間所得が250万円に満たないのが実態です。父子家庭は経済的には母子に比べ恵まれています。父親の仕事上、親が不在になりがちなので、子供は常に家に独りである時間が多いことから「心の貧困」が問題になっています。これを地域でどう支えて行くかが非常に重要です。

「経済的な貧困」と「心の貧困」。大綱では総合的に支援をするという考え方です。

「教育の支援」は学校をプラットフォームにし、きめ細やかな学力指導により学力を保障するという考え方です。今、千歳市では経済的に恵まれない中学校の生徒のために塾を開いています。また、ご飯を食べられない子供にも支援をしようという動きも出ています。

現在、大学・短大・専門学校を卒業した子供たちの借金は平均で270～280万円です。それだけ育英資金を借りているということです。育英資金は返さなければなりません。日本の育英資金は41歳までに全額返済しなさいという仕組みです。私のところの法人は、若い従業員には手当を付けて、育英資金返済の負担軽減化を行っています。そうしなければ若い従業員が定着し、なかなか結婚もできないということになります。少子化でありながら、更に子供が少なくなっていく、ことになってしまいます。そういう状況から子供たちを救ってあげる。というのが、これからの社会の大きな役割であると思っています。

◇「大綱のポイント①」

どうしても家庭で育てきれない子供たちは児童養護施設に行きます。その子供たちは、親元にお金がないからなかなか進学ができません。育英資金を借りての進学を勧めても「働きたい」という子供たちがいます。大学に行く場合は18歳で児童養護施設を出て、資金を借りて自分で生活を始めなければなりません。本当に大変なことなのです。

◇「大綱のポイント②」

就学資金として年間48万円を無償にする制度を創設することが閣議決定されました。この資金を活用するためには、おそらく選抜試験があり、優秀な子どものみがその資金を活用できることになるかもしれません。子供たちにとって平等に活用ができれば有難いと思っております。

最後になりますが、千歳市も母子家庭の自立に向けた様々な支援をしているのは事実であります。未来のある子供たちが平等に育っていくために、そういう子どもたちに対し、我々も地域の人間として、支援をしていかなければならない、ということをお話させていただきました。ご清聴ありがとうございました。

～ 詳しくはホームページをご覧ください ～

本日のニコニコBOX 9名 22,000円

出席率

今回：55.6%（2月9日＝35／63 実数）

確定：76.2%（1月19日＝48／63、うちMu0名）